



日本赤十字社 和歌山医療センター

Japanese Red Cross Society

医療連携だより

夏号

No. 98



和歌山市小松原通四丁目20番地
TEL: 0120-965-582 (医療連携課)
FAX: 0120-937-510 (医療連携課)

(発行責任者)
管理局長 中川 豊
e-mail: renkei@wakayama-med.jrc.or.jp

就任のご挨拶



眼科部長
大音 壮太郎

和歌山の皆様、初めまして。5月1日付けで日本赤十字社和歌山医療センター眼科部長に就任いたしました大音壮太郎と申します。

私は平成10年京都大学卒業です。同年に京都大学医学部附属病院眼科に入局し、研修を行いました。平成13年からの大学院では網膜再生に関する基礎研究を行い、後の世界初iPS細胞移植手術につながる成果をあげることができました。平成20年から京都大学医学部附属病院眼科のスタッフとして臨床・研究・教育に取り組んできました。在任中は医局長・病棟医長をつとめ、勧誘活動や専攻医・研修医教育に重点をおいて参りました。令和4年には大津赤十字病院眼科部長を務め、多数の手術を執刀し、若手医師の指導に励んで参りました。

私の専門は網膜硝子体疾患に対する診療・研究です。中でも黄斑疾患を最大の得意分野としています。近年全国的に黄斑疾患に対する硝子体手術件数が増加傾向にあり、昨年度、京都大学医学部附属病院でも硝子体手術件数に占める黄斑疾患の割合は52%でした。また加齢黄斑変性をはじめとするメディカル黄斑治療はここ10年間で急激な増加を続けています。

日本赤十字社和歌山医療センターでは、専門であるサージカル・メディカル網膜診療を更に発展させたいと考えています。これまでの経験を生かして、長期にわたって良好な視力が維持できるよう、最善の治療を行っています。また当センターでは緑内障治療も多く行ってきた実績があります。緑内障診療も、若手を指導しながら発展させていきます。

私の名字は「おおおと」と読みます。珍しい名字ですが、英語表記しますとSOTARO OOTOとなり、Oがいくつも並びます。名前の「O」と、

専門の黄斑の「おう」を重ねて覚えていただければ幸いです。和歌山県の眼科地域医療に貢献できるよう努力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

【サージカル網膜】

サージカル網膜とは、外科手術で網膜硝子体疾患を治療することです。

主に黄斑上膜・黄斑円孔・裂孔原性網膜剥離・硝子体出血・増殖型糖尿病網膜症などを対象に硝子体手術を施行しています。最新のシステムを導入し、手術の短時間化・低侵襲化に努めています。硝子体手術機器はコンステレーションを使用し、広角眼底観察システム+小切開経結膜硝子体手術を行っています。

短期間の予定入院を基本としていますが、網膜剥離・眼内炎など緊急性が高い疾患は緊急手術を行わせていただきます。

【メディカル網膜】

加齢黄斑変性・糖尿病黄斑浮腫など多くの疾患で抗VEGF薬の硝子体注射が第一選択の治療となっています。抗VEGF薬硝子体注射による治療は、メディカル網膜と呼ばれています。

この治療は繰り返し行うことが必要でありまして、特に加齢黄斑変性では生涯にわたるプロアクティブ治療、フォローが重要となります。プロアクティブ治療とは病状が悪化する前に1~3ヶ月間隔で計画的治療を行うことです。

【加齢黄斑変性】

メディカル網膜の代表疾患が加齢黄斑変性です。

加齢黄斑変性は本邦での患者数は150万人と推定され、近年増加の一途を辿っている疾患です。加齢黄斑変性に伴う新生血管や萎縮が黄斑に生じますと、高度な視力低下に陥ります。

加齢黄斑変性には民族差があることがわかっていますが、その違いは十分には解明されていませんでした。欧米型の加齢黄斑変性はドルーゼンとよばれる前駆物質と関連が深いのですが、アジアの症例では必ずしもドルーゼンを認めません。私はドルーゼンを認めず、脈絡膜が厚い症例をバキコロイドと呼び、欧米型の加齢黄斑変性と表現型・遺伝型とも異なることを報告しています。このアジア人型加齢黄斑変性ともよべる新しい疾患概念は、私たちの報告からアジアを中心に広がり、加齢黄斑変性の疾患概念そのものが変わりつつあります。

治療の反応性についても欧米型とアジア型で変わる可能性があり、イメージング所見から個々の患者さんに最適な薬剤・治療レジメを考慮しながら診療を行っています。

就任のご挨拶



消化器外科部長
近藤 正人

拝啓 盛夏の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび 2026 年 7 月 1 日付で、神戸市立医療センター中央市民病院外科より、日本赤十字社和歌山医療センター消化器外科部長として赴任いたしました近藤正人と申します。和歌山の地域医療に携わる機会を賜り、身の引き締まる思いでございます。本稿をお借りし、就任のご挨拶ならびに自己紹介を申し上げます。

私は 1997 年に京都大学を卒業後、京都大学医学部附属病院、滋賀県立成人病センター（現 滋賀県立総合病院）、静岡市立静岡病院、天理よろづ相談所病院にて、消化管外科領域、とりわけ食道・胃・大腸・直腸癌に対する外科治療に従事してまいりました。低侵襲手術を中心に、安全性と根治性の両立を目指しながら診療経験を積んでまいりました。こうした診療のなかで、患者さん一人ひとりの背景や生活環境に応じた治療選択の重要性を痛感し、術後の生活の質をいかに保つかという視点を常に大切にしていまいりました。

2012 年からは神戸市立医療センター中央市民病院外科に勤務し、主に上部消化管外科を担当するとともに、ロボット支援手術の導入・立ち上げに携わってまいりました。新たな技術を安全に運用するためには、外科医のみならず多職種の協力が不可欠であり、チーム全体での体制構築に取り組んだ経験は、私にとって大きな財産となっております。また、各種臨床試験にも積極的に参加し、標準治療の確立や新たな治療戦略の構築に微力ながら貢献してまいりました。同時に救急疾患に対する外科的治療にも幅広く従事し、急性期医療の

現場で得た学びは、日々の診療における判断の確かさを支える重要な基盤となっております。

近年では高齢のがん患者さんの増加を踏まえ、術後の ADL 低下予防や早期の社会復帰を重要な課題と捉え、合併症を抑えた低侵襲手術のさらなる推進に努めております。患者さんが治療後の生活を前向きに描けるよう、手術の成功だけでなく、その後の生活の質にまで目を向けることが外科医の責務であると考えております。

兵庫県においては地域の先生方と連携し、胃癌術後患者に対する地域連携バスの構築と運用を進めてまいりました。入院中から管理栄養士、薬剤師、理学療法士など多職種と連携し、「チーム医療」として患者さんを総合的に支える体制づくりに注力してきた経験は、地域完結型医療を実現するうえで大きな意義を感じております。多職種がそれぞれの専門性を発揮しながら患者さんを支えることで、術後の合併症の減少や早期の社会復帰につながることを実感しており、こうした取り組みは地域全体の医療の質向上にも寄与すると考えております。

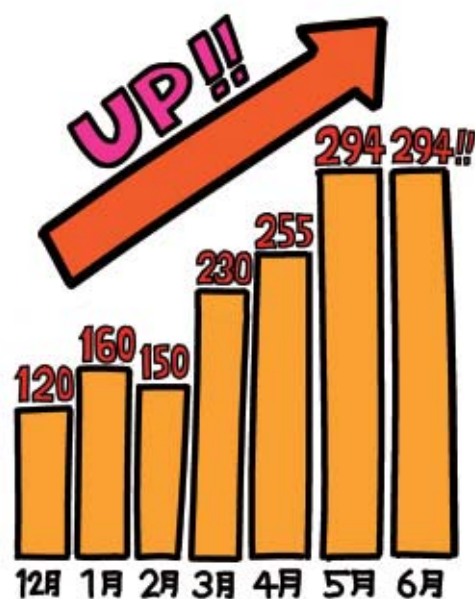
和歌山県は高齢化が進む一方で、地域の医療機関が連携しながら住民の健康を支えてこられた歴史ある地域であり、その一端を担わせていただくことに大きな責任と使命を感じております。日本赤十字社としての「人道・博愛」の理念を胸に、地域の皆様に寄り添いながら、安心して治療を受けていただける体制づくりに尽力してまいります。

医療は一施設で完結するものではなく、地域全体で支えるべきものであります。今後は地域の先生方との連携を一層深め、紹介・逆紹介の円滑化や情報共有の充実を図りながら、地域完結型医療の実現に貢献したいと考えております。診療においては皆様よりご助言を賜る場面も多々あるかと存じますが、これらの取り組みは地域の先生方のご協力なくしては成し得ないものであり、今後とも何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

微力ではございますが、これまでの経験を生かし、和歌山の医療発展に寄与できるよう誠心誠意努めてまいります。末筆ながら、皆様のますますのご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

オンライン初診紹介予約(e連携)について<続報>



e連携利用率20%

無料で簡単に利用
できる!

土日も予約が
取れて便利!

患者さんの
待ち時間が
なくなり好評です!!



これからも医療連携課(予約センター)では地域の先生方に対する様々な対応について利便性・正確性を向上させ、ご満足いただけるよう鋭意取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】

医療連携課 TEL 0120-965-582

退職のお知らせ

4月30日付

消化器内科部 廣 橋 正 樹 (専攻医)

6月30日付

歯科口腔外科部 清 水 航 治 (副部長)

消化器外科部 辰 林 太 一 (副部長)

消化器外科部 金 井 理 紗 (副部長)

耳鼻咽喉科・頭頸部外科部 寺 井 匠 (医師)

呼吸器内科部 山 本 孝 祥 (専攻医)

上記の職員が退職いたしました。
大変お世話になりました。

就任のお知らせ

5月1日付

眼科部 大 音 壮太郎 (部 長)

7月1日付

消化器外科部 近 藤 正 人 (部 長)

産婦人科部 安 田 枝里子 (副部長)

産婦人科部 新 垣 亮 輔 (医 長)

循環器内科部 山 田 真 博 (医 師)

耳鼻咽喉科・頭頸部外科部 井 上 大 志 (医 師)

上記の職員が新たに就任いたしました。
よろしくお願いいたします。

令和8年度 診療科別合同セミナー・講演会等一覧

当センターでは、各種講演会を実施しています。開催時には、随時ご案内しますので是非ご参加ください。

日時	診療科	会合・講演会名	場所	参加人数 (合計)
4月2日(木)	循環器内科	虚血性心疾患と向き合う	WEB 配信	32名
4月23日(木)	循環器内科 消化器内科	消化管出血を再考する ～出血0を目指して～	ホテルアバロームの国 (ハイブリッド)	96名
5月21日(木)	感染症内科	令和8年度第1回感染対策向上加算に係る 合同カンファレンス	WEB 配信	221名
6月18日(木)	リウマチ科	和歌山県 SLE 病診連携セミナー ー地域で支えるSLE診療ー	WEB 配信	43名

紹介初診患者診察担当医師表

2026年7月13日現在

診療科名	月	火	水	木	金
循環器内科	主任部長 静田 聡 副部長 藤田 啓誠 — —	部長 田崎 淳一 副部長 辰島 正二郎 副部長 辻 修平 《末梢血管外来》	副部長 辻 修平 吉田 昭典 — —	部長 田崎 淳一 副部長 辰島 正二郎 《末梢血管外来》 —	主任部長 静田 聡 副部長 藤田 啓誠 柴森 裕一郎 《末梢血管外来》
消化器内科	院長 山下 幸孝 副部長 松本 久和 外村 晃平 上野 昌太郎 久保 智暉	主任部長 上野山 義人 部長 中谷 泰樹 医 長 中野 省吾 筑後 英紀 曾根 明日香	副部長 岩上 裕吉 外村 晃平 森 敬之 荻野 真也 —	部長 中谷 泰樹 副部長 松本 久和 医 長 中野 省吾 曾根 明日香 植月 彩華	主任部長 上野山 義人 副部長 岩上 裕吉 荻野 真也 坂野 利樹 筑後 英紀 《交替制》
糖尿病・内分泌内科 ※血液内科	副部長 廣島 知直 —	部長 金子 至寿佳 医 長 上田 佑衣奈	副部長 廣島 知直 部長 岡 智子	部長 金子 至寿佳 —	副部長 光吉 貴哉
消化器外科	部長 近藤 正人 副部長 山田 真規 井上 一真	副部長 松浦 正徒 医 長 青山 諒平 池田 修斗	部長 横山 智至 副部長 中村 直人 —	副部長 門野 賢太郎 寺脇 平真 伊藤 拓馬	主任部長 安近 健太郎 部長 伊東 大輔 医 長 佐倉 悠介
※乳腺外科	副部長 鳥井 雅恵 副部長 松本 純明	—	部長 松谷 泰男 —	副部長 鳥井 雅恵 副部長 松本 純明	部長 松谷 泰男
小児外科	—	池田 修斗	部長 横山 智至	—	—
※眼科	部長 大音 杜太郎 山口 真利奈	川村 光 —	岡 由佳子 —	医 長 石倉 雅治 —	貴志 友香 —
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	部長 扇田 秀章 —	副部長 曉 久美子 —	部長 扇田 秀章 —	安田 佳織(第1.3.5週) 副部長 森田 勲(第2.4週)	副部長 辻村 隆司(第1.2.3.4週) 安田 佳織(第5週のみ)
産婦人科	副部長 山西 優紀夫(第1-3・5週) 副部長 山村 省吾(第2・4週)	副部長 安田 枝葉子(第1・3・5週) 副部長 日野 麻世(第2・4週)	副部長 山村 省吾(第1・3・5週) 医 長 新垣 亮輔(第2・4週)	副部長 横山 玲子(第1・3・5週) 副部長 山西 恵(第2・4週)	副院長 吉田 隆昭 —
小児科	部長 儘田 光和 副部長 杉峰 啓憲 —	副部長 深尾 大輔 医 長 坂部 匡彦 —	副部長 横山 宏司 宮崎 紗矢香 —	部長 儘田 光和 副部長 杉峰 啓憲 —	医 長 坂部 匡彦 医 長 幸伏 寛和 —
泌尿器科	部長 玉置 雅弘 副部長 灰谷 崇夫 福田 拓也 —	副院長 伊藤 哲之 副部長 灰谷 崇夫 中保 良太 ※《精子凍結保存外来》	医 長 高橋 俊文(第1・3・5週) 中保 良太(第2・4週) — ※《男性不妊外来》(第2.3.4.5週)	部長 玉置 雅弘 副部長 柴崎 昇 医 長 高橋 俊文 ※《精子凍結保存外来》	副院長 伊藤 哲之 副部長 柴崎 昇 丸野 皓平 —
腎臓内科	副部長 嘉藤 光歩 堺 涼果 —	副部長 嘉藤 光歩 児玉 健志 —	部長 小緑 翔太 副部長 杉谷 盛太 玉置 菜名(第1.3.5週)	部長 小緑 翔太 前沢 浩司 —	副部長 杉谷 盛太 医 長 大森 翔平 —
皮膚科	大橋 理加	岩崎 のり	医 長 坂田 真理子	田中 美奈子	部長 米井 希
整形外科	部長 玉置 康之 副部長 田中 慶尚 副部長 仲谷 健次 —	副部長 植田 成実 医 長 坂崎 太紀 木村 真大 平山 和秀 —	副部長 田中 慶尚 副部長 古川 剛 安里 尚悟 —	部長 玉置 康之 副部長 植田 成実 杉野 亮人 —	副部長 古川 剛 副部長 仲谷 健次 医 長 坂崎 太紀 —
歯科口腔外科	佐武 明日香	長尾 茉柚	五木田 彩名	井原 健太	部長 平石 幸裕
※放射線治療科 (紹介患者さんの受け入れ休止中)	—	—	—	—	—
脳神経外科	《交替制》	《交替制》	《交替制》	部長 武本 英樹 《脳血管内治療専門外来》	《交替制》
※麻酔科	—	副部長 吉村 聖子	副部長 宮崎 里紗	医 長 佐田 善子	—
※呼吸器内科	部長 池上 達義 —	《睡眠時無呼吸専門外来》 —	医 長 河内 寛明 —	—	副部長 寺下 聡 副部長 渡邊 創
心臓血管外科	部長 阪口 仁寿 —	—	部長 阪口 仁寿 —	—	—
※脳神経内科	部長 山下 博史 医 長 成宮 悠爾 渡邊 圭崇(隔週) 竹中 友洋(隔週)	医 長 立田 直久 松田 明宏 — —	部長 山下 博史 中村 大和(隔週) 大曲 悠希(隔週) —	北堀 悠介 相馬 隆一郎 — —	医 長 立田 直久 平田 真也(隔週) 平山 典宏(隔週) —
※精神科	部長 東 睦広 —	—	—	部長 東 睦広	—
※形成外科	広実 佐保 医 長 杉村 智加	副部長 上野 一樹 成山 晃弘 —	広実 佐保 —	医 長 杉村 智加 副部長 上野 一樹	成山 晃弘
呼吸器外科	—	部長 石川 将史	副部長 池田 政樹	—	部長 石川 将史
※心療内科	—	部長 阿部 哲也	—	部長 阿部 哲也	—
※リウマチ科 (非常勤医師)	秋月 修治(第1・2・4・5週) 小川 惇史(第2・4週)	岡本 翔太 松宮 遼	船越 莊平 納田 安啓	—	別役 翼 小川 惇史(第1・3・5週)
※漢方内科	—	—	部長 山田 伸	—	—
感染症内科	《交替制》	《交替制》	《交替制》	《交替制》	《交替制》
※緩和ケア内科(午後)	筒井 一成	吉村 聖子	宇山 志朗	筒井 一成	阿部 哲也
※腫瘍内科	—	—	野長瀬 祥兼	高濱 陸幸	—
※遺伝診療センター	—	—	副部長 山西 恵(第2・4週)	—	—

赤字…女性医師 ※…完全予約制(当日初診で紹介いただく場合は事前に電話でご相談ください。)

はがんセンターユニット担当医師(がん診療以外も対応させていただきます。)